



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月27日  
東・名

上場会社名 中央発條株式会社 上場取引所  
 コード番号 5992 URL <https://www.chkk.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小出 健太  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 矢澤 文希 (TEL) 052-624-8539  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年11月25日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	43,403	13.4	341	66.5	2,043	228.9	1,099	467.2
2022年3月期第2四半期	38,280	21.5	204	—	621	—	193	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期  $\Delta 297$ 百万円(—%) 2022年3月期第2四半期 2,074百万円(231.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	44.13	—
2022年3月期第2四半期	7.78	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	109,042	70,651	60.6
2022年3月期	104,553	71,425	64.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 66,107百万円 2022年3月期 67,103百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2023年3月期	—	16.00			
2023年3月期(予想)			—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,500	12.6	1,500	$\Delta 17.9$	2,700	$\Delta 21.4$	1,600	$\Delta 11.2$	64.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日公表の「2023年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ー社 (社名)ー 、除外 ー社 (社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	25,542,396株	2022年3月期	25,542,396株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	623,882株	2022年3月期	623,298株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	24,918,872株	2022年3月期2Q	24,919,748株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
参考資料	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、国内においては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う半導体等の部品の供給不足を主要因とした、主要なお客様の生産調整に伴う工場の操業停止等が発生し、自動車の生産台数が前年同四半期に比べ減少いたしました。一方海外では、アジア・中国の自動車生産台数が増加したため、グループ全体では前年とほぼ同レベルとなりました。

このような状況のなか、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高が前年同四半期に比べ51億2千3百万円増収（前年同四半期比13.4%増）の434億3百万円となりました。この売上高増収のほぼ全てが、鋼材・資材・物流費等の高騰に対するお客様への売価反映と為替変動の影響であり、実質的な売上高は前年とほぼ同水準となりました。

損益の状況につきましては、営業利益が1億3千6百万円増益の3億4千1百万円（前年同四半期比66.5%増）となりました。鋼材・資材・物流費及び動力光熱費の高騰は前年同四半期の高騰の約3倍にも達し、大変厳しいインフレ圧力に晒されましたが、過去最高レベルを更新する合理化改善の実施、インフレ圧力の大部分を売価に反映できた営業努力によりコスト上昇を跳ね返し、営業増益を確保することができました。過去最高値を更新する合理化改善としましては、北米地域におけるケーブル事業から収益率の高いシャシばね事業への事業構造転換推進による収益力の向上、直材費の鋼材調達に対するグローバル最廉価地域、仕入先からの購入、仕入先と一体となった購入部品原低推進や、加えて、当社の強みである製造現場改善による、労務費・稼働費低減の強化、物流効率向上などあらゆる費目の総費用低減活動をグループをあげて取り組んでまいりました。

一方、経常利益は14億2千2百万円増益の20億4千3百万円（前年同四半期比228.9%増）となりました。当社はこれまで安定した収益確保、有利子負債の圧縮を基盤とした財務体質強化の施策を計画的に推進し、基本的に自己資金によるグローバル資金体制を構築してまいりました。その結果、当第2四半期末の為替レートが、前年度末に対し大きく円安方向に振れたことにより、自己資金分の評価換算差益が大きく営業外のプラス収益方向に寄与し（約13億円の増益効果）、今回の経常利益の増益につながりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億9千9百万円（前年同四半期比467.2%増）となりました。なお、売上高及び各利益実績は、全てにわたり本年7月28日に修正公表した業績予想数値を上回っております。

今後の見通しにつきましては、通期の売上高及び営業利益を、本日公表した数値に修正いたします。売上高は絶対額では増収修正となっておりますが、内容的には利益に寄与しない鋼材等の更なる高騰や為替変動に対する売価反映が、実質的な主要なお客様の生産台数減少予測に伴う売上高減少を上回ったものであり、営業利益に対してはマイナス要因として作用いたします。それを受け、営業利益見通しを下方修正いたします。一方、期末の為替レートは円安方向に推移しているため、経常利益、当期利益においては、営業減益影響が円安による営業外収益上昇に打ち消され、今回は公表数値は変更いたしません。今年度後半は、インフレ圧力は前半期を更に上回る圧力となることが予測され、高付加価値製品の売上高増、営業努力最大化による製品売価への反映や、今年度前半期に実施した過去最高を超える合理化改善の継続により、今回修正した公表利益を上回る利益獲得に向け今後も最大限の努力をはかります。

将来に向けては、今後も引き続き収益力を高める「製品の高付加価値化」、主要なお客様の電動化戦略に対応した「EV・FCV対応製品のラインナップ拡充」、自動車部品で培った技術を活かす「非自動車分野への挑戦」を積極的に推進し、売上高と収益力の双方を強化し「中発Global Vision2025」達成に注力してまいります。

また、SDGs対応としてのカーボンニュートラル対応の強化、人的投資としての従業員モチベーション、働きやすさの追求を強化推進し、「社会」と「人」に優しい企業を目指します。

今後とも信頼され続ける『100年企業』を目指し、邁進してまいります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、売上高はセグメント間の売上高を含んでおります。

[日本]

売上高306億円（前年同四半期比5.4%増）、営業利益4億6千5百万円（同54.8%減）となりました。

[北米]

売上高41億6千8百万円（前年同四半期比28.2%増）、営業損失5千8百万円（前年同四半期は4億5千万円の営業損失）となりました。

[中国]

売上高60億3千2百万円（前年同四半期比30.1%増）、営業利益4億5千8百万円（同7.8%増）となりました。

[アジア]

売上高80億9千9百万円（前年同四半期比34.5%増）、営業利益2億5千万円（前年同四半期は4千9百万円の営業損失）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は460億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ64億2千3百万円増加（16.2%増）いたしました。これは主に現金及び預金の増加（36億8千5百万円）、商品及び製品の増加（10億7千7百万円）、原材料及び貯蔵品の増加（9億7千万円）によるものであります。

固定資産は630億3千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億3千3百万円減少（3.0%減）いたしました。これは主に機械装置及び運搬具の増加（13億1千7百万円）及び投資有価証券の減少（33億2千7百万円）によるものであります。

この結果、総資産は1,090億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ44億8千9百万円増加（4.3%増）いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は231億5千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ47億8千6百万円増加（26.1%増）いたしました。これは一年以内返済予定の長期借入金の増加（44億8千6百万円）によるものであります。

固定負債は152億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億7千7百万円増加（3.2%増）いたしました。これは主に長期借入金の増加（14億5千万円）及び繰延税金負債の減少（8億8千万円）によるものであります。

この結果、負債合計は、383億9千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ52億6千3百万円増加（15.9%増）いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は706億5千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億7千3百万円減少（1.1%減）いたしました。これは主に利益剰余金の増加（7億円）、為替換算調整勘定の増加（6億4千1百万円）及びその他有価証券評価差額金の減少（23億4千9百万円）によるものであります。

この結果、自己資本比率は60.6%（前連結会計年度末は64.2%）となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年4月27日に公表いたしました予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2023年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,869,907	11,555,708
受取手形及び売掛金	14,048,426	14,460,965
電子記録債権	2,350,117	2,360,420
商品及び製品	4,425,299	5,502,404
仕掛品	1,526,502	1,757,955
原材料及び貯蔵品	7,476,249	8,447,009
未収入金	574,358	653,270
その他	1,348,580	1,327,338
貸倒引当金	△37,629	△59,990
流動資産合計	39,581,812	46,005,083
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	30,341,695	30,852,619
減価償却累計額	△24,445,576	△25,026,880
建物及び構築物（純額）	5,896,119	5,825,739
機械装置及び運搬具	64,866,169	67,375,340
減価償却累計額	△54,341,054	△55,532,952
機械装置及び運搬具（純額）	10,525,115	11,842,387
土地	9,435,162	9,507,875
建設仮勘定	3,065,322	2,915,362
その他	11,505,130	11,868,022
減価償却累計額	△10,314,310	△10,809,197
その他（純額）	1,190,820	1,058,825
有形固定資産合計	30,112,539	31,150,190
無形固定資産		
ソフトウェア	158,869	165,471
その他	50,586	13,632
無形固定資産合計	209,455	179,103
投資その他の資産		
投資有価証券	24,759,005	21,431,377
長期前払費用	578,791	557,180
繰延税金資産	224,286	269,495
退職給付に係る資産	8,854,947	9,206,470
その他	287,891	300,124
貸倒引当金	△55,515	△56,105
投資その他の資産合計	34,649,407	31,708,543
固定資産合計	64,971,401	63,037,837
資産合計	104,553,214	109,042,921

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,938,722	10,876,998
電子記録債務	1,509,676	1,359,084
短期借入金	1,948,950	1,601,550
1年内返済予定の長期借入金	114,621	4,600,771
リース債務	106,487	100,401
未払金	756,799	141,909
未払費用	1,505,482	1,751,404
未払法人税等	448,211	615,333
賞与引当金	1,531,898	1,468,148
役員賞与引当金	74,014	28,499
製品保証引当金	21,099	53,104
その他	414,696	559,706
流動負債合計	18,370,661	23,156,911
固定負債		
長期借入金	4,636,799	6,087,500
リース債務	169,506	140,039
繰延税金負債	8,313,343	7,433,148
役員退職慰労引当金	176,313	84,470
退職給付に係る負債	1,232,954	1,257,750
資産除去債務	133,361	134,170
その他	95,165	97,576
固定負債合計	14,757,444	15,234,655
負債合計	33,128,106	38,391,567
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,837,208	10,837,208
資本剰余金	11,056,764	11,056,764
利益剰余金	27,482,888	28,183,875
自己株式	△672,425	△672,834
株主資本合計	48,704,436	49,405,014
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,067,575	12,718,126
為替換算調整勘定	680,825	1,322,145
退職給付に係る調整累計額	2,650,253	2,662,108
その他の包括利益累計額合計	18,398,654	16,702,380
非支配株主持分	4,322,016	4,543,959
純資産合計	71,425,107	70,651,353
負債純資産合計	104,553,214	109,042,921

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	38,280,440	43,403,518
売上原価	33,810,308	38,756,529
売上総利益	4,470,132	4,646,988
販売費及び一般管理費	4,265,345	4,305,953
営業利益	204,786	341,034
営業外収益		
受取利息	9,891	7,351
受取配当金	338,989	347,059
為替差益	33,319	1,333,589
助成金収入	99,390	76,836
その他	21,737	66,704
営業外収益合計	503,328	1,831,540
営業外費用		
支払利息	16,864	25,912
固定資産除売却損	36,719	25,661
品質保証費用	—	34,446
その他	33,110	42,637
営業外費用合計	86,694	128,658
経常利益	621,421	2,043,916
税金等調整前四半期純利益	621,421	2,043,916
法人税等	310,141	780,868
四半期純利益	311,279	1,263,048
非支配株主に帰属する四半期純利益	117,410	163,355
親会社株主に帰属する四半期純利益	193,868	1,099,692



四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	311,279	1,263,048
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,588,551	△2,343,297
為替換算調整勘定	138,445	769,719
退職給付に係る調整額	36,537	12,720
その他の包括利益合計	1,763,534	△1,560,856
四半期包括利益	2,074,813	△297,808
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,908,118	△596,582
非支配株主に係る四半期包括利益	166,695	298,773

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社における税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示につきましては、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	北米	中国	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	27,021,956	3,152,916	3,701,899	4,403,669	38,280,440
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,005,585	99,608	936,171	1,617,117	4,658,481
計	29,027,541	3,252,524	4,638,070	6,020,786	42,938,922
セグメント利益又は損失(△)	1,029,028	△450,953	425,628	△49,519	954,184

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	954,184
未実現利益の消去等	△20,509
全社費用(注)	△728,887
四半期連結損益計算書の営業利益	204,786

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門に関わる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	北米	中国	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	28,173,000	4,056,849	4,857,703	6,315,963	43,403,518
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,427,889	111,322	1,174,989	1,783,600	5,497,802
計	30,600,889	4,168,172	6,032,693	8,099,564	48,901,320
セグメント利益又は損失(△)	465,144	△58,572	458,961	250,510	1,116,043

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,116,043
未実現利益の消去等	9,680
全社費用(注)	△784,689
四半期連結損益計算書の営業利益	341,034

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門に関わる費用であります。

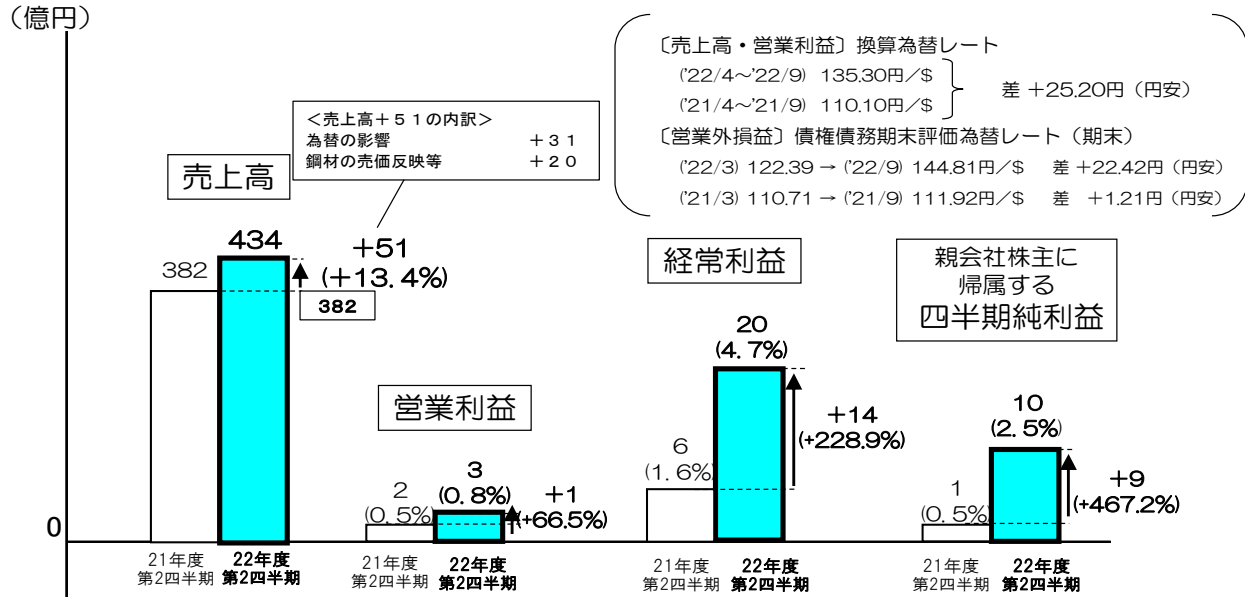
3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

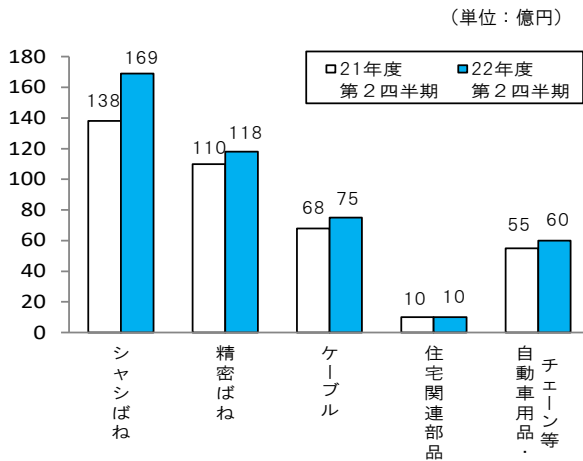
1. 売上高・・・前期比増収も、要因は高騰した鋼材等の売価反映と円安影響で、実質的には前期比横ばい。
2. 営業利益・・・厳しいインフレを過去最高レベルを超える合理化改善で跳ね返し、前期比66.5%増の増益。
3. 経常利益・・・22/3月末対比大幅な円安が継続。前期比229%増と大幅な経常増益で着地。

(金額単位：億円、単位未満切捨て)

1. 連結決算の状況

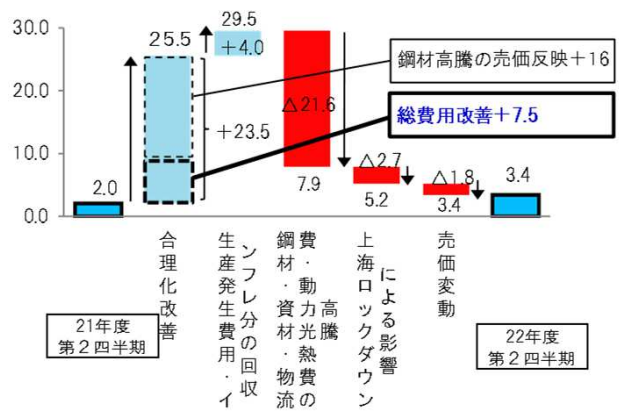


2. 製品別売上高明細

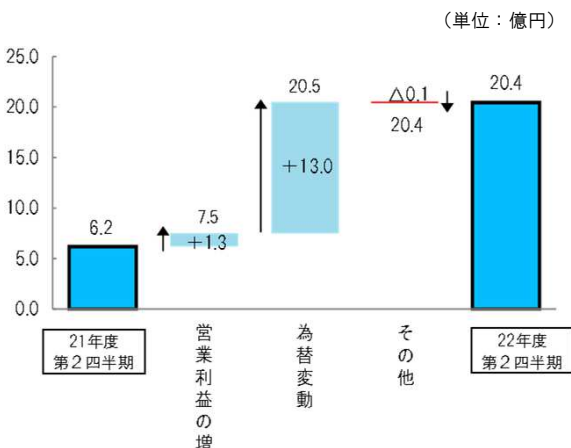


3. 利益の増減要因 (対前年同四半期比)

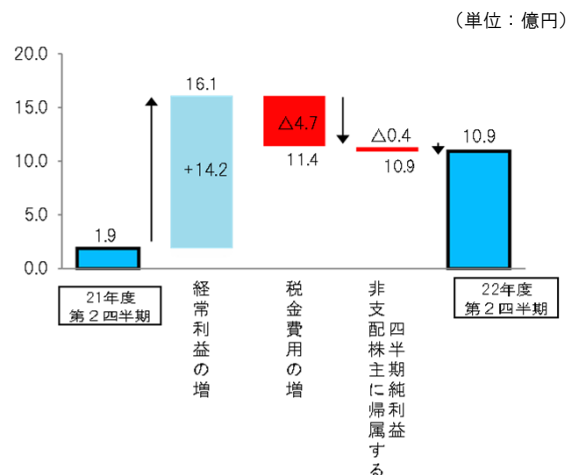
(1) 営業利益



(2) 経常利益



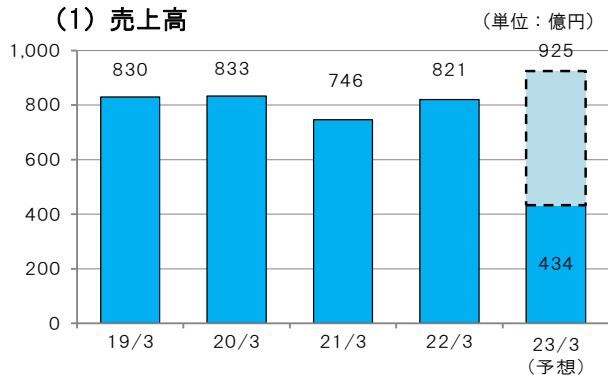
(3) 親会社株主に帰属する四半期純利益



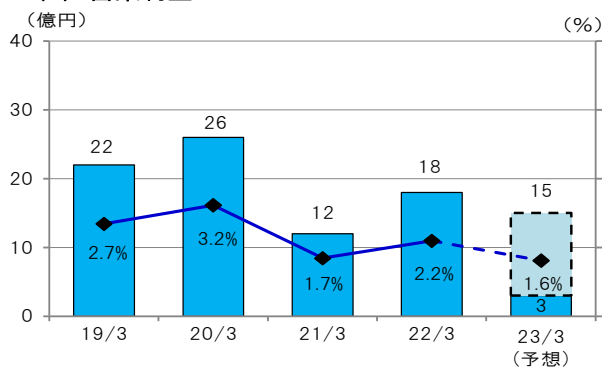
(金額単位：億円、単位未満切捨て)

#### 4. 業績推移

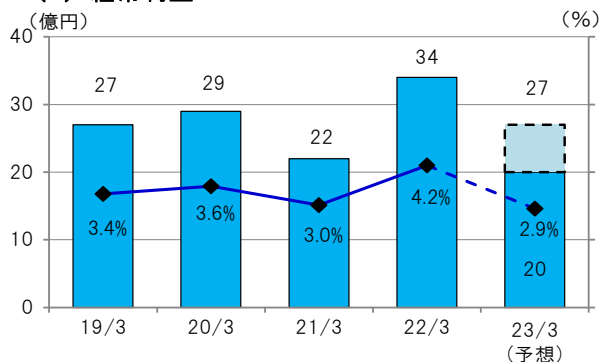
##### (1) 売上高



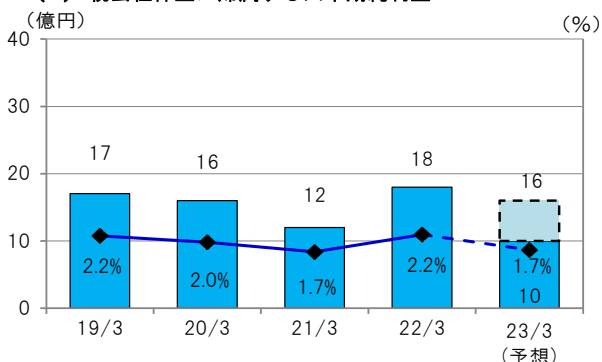
##### (2) 営業利益



##### (3) 経常利益

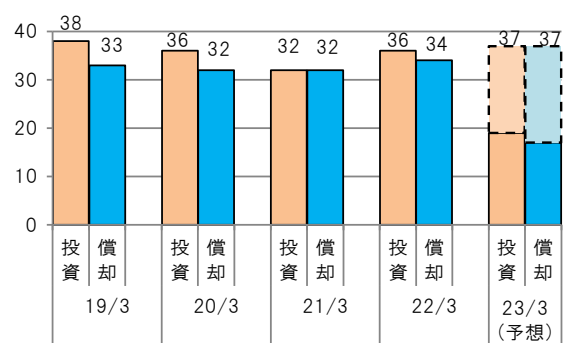


##### (4) 親会社株主に帰属する四半期純利益

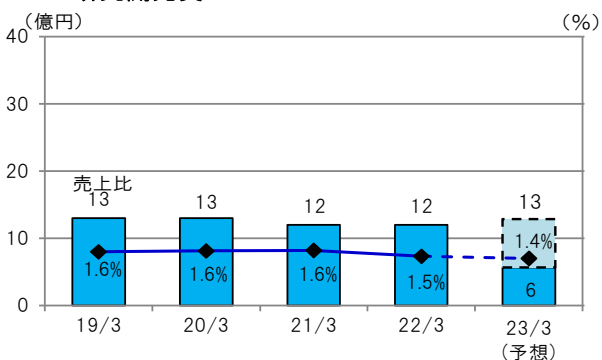


#### 5. 設備投資・減価償却費

(単位：億円)



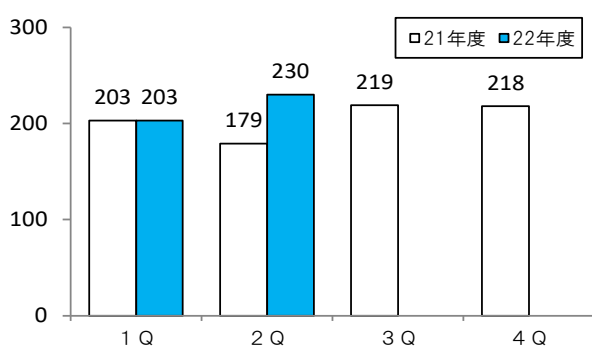
#### 6. 研究開発費



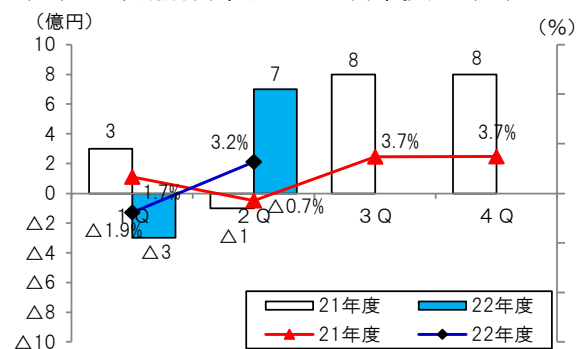
#### 7. 四半期別業績比較

##### (1) 四半期別売上高

(単位：億円)



##### (2) 四半期別営業利益又は営業損失 (△)



(金額単位：億円、単位未満切捨て)

## 8. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	円 銭
通期	925	12.6	15	△17.9	27	△21.4	16	△11.2	64.21

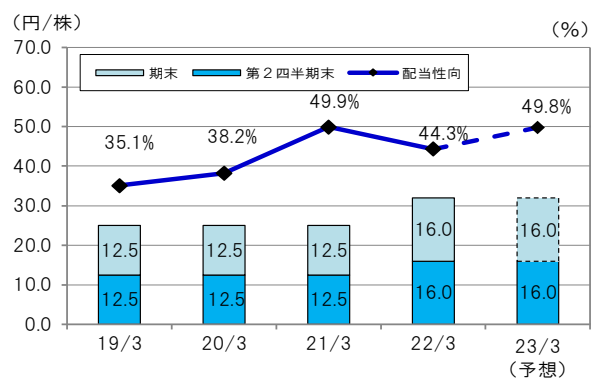
(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有  
詳細につきましては、本日公表の「2023年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 9. 貸借対照表

(単位：億円)

科目	資産の部			負債・純資産の部			
	22年3月期	22年9月期	増減	科目	22年3月期	22年9月期	増減
<b>流動資産</b>	395	460	+64	<b>流動負債</b>	183	231	+47
現金及び預金	78	115	+37	買入債務	114	122	+7
売上債権	163	168	+4	借入金	20	62	+41
たな卸資産	134	157	+22	その他	48	47	△1
その他	18	19	+0	<b>固定負債</b>	147	152	+4
				借入金	46	60	+15
				その他	101	91	△9
				(負債計)	331	383	+52
<b>固定資産</b>	649	630	△19	<b>株主資本</b>	487	494	+7
有形固定資産	301	311	+10	その他包括利益累計額	183	167	△16
無形固定資産	2	1	△0	<b>非支配株主持分</b>	43	45	+3
投資その他資産	346	317	△29	(純資産計)	714	706	△7
<b>計</b>	<b>1,045</b>	<b>1,090</b>	<b>+44</b>	<b>計</b>	<b>1,045</b>	<b>1,090</b>	<b>+44</b>

## 10. 配当金・配当性向



(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。19/3期の期首に当該株式分割を実施したと仮定して、1株当たり配当金を算定しております。

(注) 上記の業績及び期末配当予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績及び期末配当は様々な要因の変化により異なる可能性があります。

# 2023年3月期 第2四半期

## 決算発表(参考資料②)

### 1. 2023年3月期 売上高・各利益の業績予想

■ **2023年3月期第2四半期 当初計画と実績のポイント**

売上高・・・**増収 (+703百万円 +1.6%)**  
 営業利益・・・**増益 (+141百万円 +70.5%)**  
 経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益・・・**増益(経常+943百万円 +85.7% / 純利益+549百万円 +99.8%)**

■ **2023年3月期 当初計画と修正計画のポイント**

修正内容:売上高増収、営業利益減益、経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は変更せず。

売上高・・・主要なお客様の自動車生産台数は、当初計画比減産と予測。一方で、鋼材高騰や為替影響の(+35億円) 売価反映が減収影響を上回り増収修正。

営業利益・・・主要なお客様の減産予測により、実質的な売上高は減収となり、営業利益を減益修正。(△8億円) 過去最高レベルを更新する合理化改善を行うも、インフレ圧力が大きく減益影響を吸収できず減益。

《23年度3月期 4/27当初公表計画 vs 10/27 修正公表計画》

